

城山の自然と現状

講師 大分県植物研究会 会長

真柴茂彦氏

・プロフィール:

昭和11年1月生まれ、佐伯市白坪出身。昭和34年大分大学学芸学部(生態学教室)卒業。佐伯城南中学校を振り出しに郡部の中学校に理科教師として勤務。平成7年3月昭和中学校校長(南海部郡小・中学校校長会会長)を最後に退職。

昭和47年東京大学理学部植物分類研究室に留学。文部省の博物館学芸員資格取得。退職後、鶴見町教育委員会町誌編纂室長として町誌編纂。大分県文化財・保護指導委員・カモシカ調査委員。

現在 大分県植物研究会会長 番匠川ネットワーク会長

大分県奥山地区植生調査 代表(2012～)

祖母傾ユネスコパーク推進委員(H.25～)

住所：中の島3-12-17 電話：22-1736

・「生物多様性世界戦略」の意図:

シカは、おいしいものは、区別無しに食べる。我々から見ると、滅多にないような植物まで遠慮なしに食べてしまいます。日本中ですね、かつていづらかあった非常に貴重な、レッドデータと言いますが、絶滅危惧植物、これがどんどん無くなってきてる。それで、その状態を調べてほしいというのが来まして、大分県でも取り組みました。

「生物多様性世界戦略」に、日本が参加するようになったのが1995年ですから、それに組み合わさって20年。生物が多様でなくなりよる、生物の種類がどんどん減っているというんですね。

城山の自然というのは、この生物多様性国家戦略の意図がそのままある場所だ、という風に私は考えます。

・オオイタサンショウウオの標準産地:

オオイタサンショウウオ(大分県指定天然記念物)は、城山で発見されたので、ここが標準産地です。日本全国、オオイタサンショウウオを調べようと思ったら佐伯の城山のものが基準になる、いわゆる模式標本。そういう貴重な品種で、15センチくらいです。

森の中に棲んでます。池の中に入るのは産卵期だけ、1月頃から3月まで。雌は卵を産んだらすぐ上がりますが、雄はしばらく別の雌が来るかもしれないちゃうので待って、3月頃に上がっていきます。〈ウキベディアより〉

生活は落ち葉の下や谷の石の下、夜出てきて虫とかを探



します。昼間は陽が当たると乾燥するので、湿気のある所にしか棲めない。今は裏の池(雄池、雌池)と表の谷の段の水溜まりの中で少し産まれています。

去年、水が出た折にその中のサンショウウオの孵(かえ)れたのが、佐伯小学校のそばの溝まで流れて行って、子どもたちが、ウーパールーパーが泳ぎよると言ったそうです。そう見えたんでしょう。おたまじゃくしは、頭でっかちで、そっくりです。

卵は、毎年数えております。多い折で雄池に固まりが10、雌池に10、20匹ぐらいのメスが確認できています。オスはそれより多くって、50匹くらい。前にくらべるとかなり少なくなっています。

・コジイの森:

「この山なくば余には殆んど佐伯なきなり」、と独歩に言わしめた城山。多様な生物がよく保存されており、生物に関心を持つ訪問者たちからも、よく保存されていると、ほめてもらえる自然の森です。

毎年5月に見られる、コジイ(が優占する)の花でこんもりとおおわれる城山は、圧巻です。

シイは、淡黄色の細かい穂状の花が木の全面に付きます。このため、シイの大樹が群生して山をおおう満開の時の城山は、黄色い若葉と花房が一緒になって、山全体を包むように広がって、金色になる。どこにもない、ここ佐伯ならではの眺めです。

日本のシイは、2種類。コジイと、スダジイ。コジイは、実が円(つぶ)らで、別名ツブラジイ、丸い小粒です。実が少し長いのが、スダジイです。

コジイは、北限が伊豆半島辺りで、スダジイは寒さに強く、仙台まで、青葉城の森辺りまで生育しています。

台湾、中国、南方にも似たシイがそれぞれありますが、日本のコジイはそれとは区別され、朝鮮半島南端にも少し生育しています。そっくりで同じような感じでも、日本のシイは他の所には無いわけです。

城山のコジイは、ごく当たり前そこら辺にあるようにあるんですけども、街近くで、神社林でなくて、こんな状態に保存されている、非常に貴重な森です。

・照葉樹林:

シイ、カシ、タブ、城山に多いこのような常緑広葉樹が作る森を、照葉樹林と言います。

葉が厚く、表面の光沢が強く、陽を受けると照り輝いて見える。この森の中には、決まって赤いツバキが生えるんです。これはだいたい日本の特徴です。

宮崎県の綾町では、この照葉樹林が非常に有名で観光の目玉になっています。私も、城山の下の案内板に、いっぺん書いて入れて貰ったんですけどね、城山のだって立派な照葉樹林です。

そう言う意味で、多様性の点からも、照葉樹林としても、やっぱり立派なこの城山の木をどうするかは、大きな問題です。

・城山のすばらしさ:

〈「郷土の歴史教室」配布資料 3p.〉

1. 丘陵地に生育するコジイの自然林が市街地に接し残っているところは県内でも少ない。
2. 城山西斜面の雄池、雌池を中心に生息するオオイタサンショウウオは標準産地として県の天然記念物に指定されている。
3. ムササビ・ニホンジカなど野生の状態を観察できる。オオアカゲラ・タゴガエル、トラハナムグリ、オキナワリチラシなど貴重な動物がみられる。
4. 貴重な絶滅危惧種を含む360種の植物が見られる。
5. 近世の城跡として石垣など城址がそのまま残っている。
6. 山頂付近登城の道沿いに築城時代に植えられたと考えられるケヤキの並木が見られる。
7. 鶴谷城と呼ばれるように鶴が羽をひろげたような山の姿は市街の背景にすばらしい景観として収まっている。また頂上からは市街と近郊の村落、佐伯湾や島、岬が一望できる。
8. 明治の文豪国木田独歩の「春の鳥」の舞台として知られ、詩情豊かで文学的にも価値あるところである。
9. 健康と体づくりの場所。市民、中高生の運動部の鍛錬の場所である。
10. 自然教室。園児・児童、中学生の学習に利用。
11. 思い出の古里、心の古里としての山である。

・見晴らしをよくするために木を切りました:

城山の上の木を切る話が出まして、何度かお話があって、教育委員会と環境の方と、観光の方と一緒に登ってですね、木をこのぐらいまでならいいだろうとか、少し上の方をはねんと下が見えないとかですね、話し合って、切ったことがあります。

どこからでも下が見えるようにするのじゃなくても、展望台を幾つか考えてやったらどうですかとか話がだんだん進んで、もっと切ってほしい。今は、下から石垣が見えるようにならないかという話が持ち上がっています。

写真は切った折の周りの様子です。これは頂上から向こうの西の丸の近所です。何にも無いですね。ずっと斜面皆切ったわけです。そしてその下は残しました。こういう状態に切ったのは、27、8年前、30年近く前です。切ったんです。

こういう状態で、上をかなり切ったわけですから上の方は当時、石垣がよく見えまして。下からはどうであったか分かりませんが。上からの見晴らしは良かったです。

年が経って、かなり前の状態に戻った。そこでまた下が見えにくくなったから、もういっぺん切らなきゃいけない、というような話になっているわけです。

・萌芽(ぼうが)する話:

〈萌芽更新(ぼうがこうしん)とは、樹木の伐採後、残された根株の休眠芽の生育を期待して森林の再生を図る方法〉。

そしてそれから、30年近く経ちましたから、萌芽(ぼうが)して、あれは切った所。だから、気をつけて見ながら登って行くと、切ったあとがきれいに分かります、どこで切ったかというのがですね。

今切るとしても、根元に近い方から切るともう生えてきません。ある程度上で切ると15年じゃムリかも知れませんが、30年近くなると元の状態に戻りますよということなんです。

・切った後のこと:

切ったら切ったで、そのままでもいいかという、石垣が見えるようになって非常にいい、けどそのまま自然は止まっているというわけにはいかないんですね。これが自然なんです。

切ったその後、どうなったかという、ススキが生えてきたんです。ススキを切らんといけん。誰かタバコを捨てたら城山は火事やでと言うてですね。

貴重なシダ類もなくなりました。

山上に、大きなシイが、西の丸の登り道の上に3本ありました。上は風が吹くと当たりがいいので折れるんです。3本あったのが全部倒れて今一本もない。シイの木というのは、風に弱い。風に弱いからあんなにドームを作って、自分たちで折れないように生きているんです。カシの木は折れにくいんですが、そういう特徴を持ってますから、周りが無くなると大きな木は折れてしまいます。

山は上から下に傷みます。下の方を切っても上の方に影響は少ないんですが、上の方を切ると下の方に影響が出る。これが山です。

・城山は、市民のもの:

「天空の城」として知られてきている兵庫県朝来(あきご)市の竹田城のことをよく聞かされます。

佐伯の城山が、近世の城跡として石垣など城址がそのまま残っている石垣の城として、人を呼べるのではないか、そういう希望があると聞きます。

霧の中に浮かぶ、マチュピチュのような、城址が竹田城のような、そんな具合にうまくいならよいと思います。しかし、うまくいかなかった時は元に戻りません。

私は、観光の面からの考え方に、決して反対するものではありません。が、当時は一部の調査で75%の人が木を切るのに反対でした。

佐伯市民が、毛利さんから、昭和57年(1982年)に頂いた、寄付してもらった城山です。

城山は佐伯市民のもので。後で悔いを残さないように十分に研究して、決めて頂きたいと思います。

〈たくさんスライドがありましたが、省略。〉